

中2 駿台学力テスト 出題のねらい【英語】

今回が中2の最初のテストということで、対話文、長文の2題の読解問題と5題の文法・客観問題の構成であり、文法・客観問題は、基本問題と応用問題を合わせた内容になっています。なお、今年度から未来形、助動詞 must, have to を含む文が範囲に加わりました。

1 対話文読解問題

ある風変わりな大学教授が妻との散歩の途中で、持っていたカサが役にたたず大雨でずぶ濡れになり、これがきっかけで、多くの人の役に立つような空飛ぶカサを発明するが、これがあまりにも間が抜けたものだったことを述べたコミカルな対話文です。問3の適語選択は空所3の直前に be 動詞があるので、形容詞の full 「いっぱい」が最も適切です。直前の語が is ではなく、has であればウが当てはまります。問6の心情把握については、(6)は「多くの人に役に立つ発明を思いついた」というモーガン氏の発言から、(7)は「あなた頭大丈夫なの？」という夫人のジャネットの発言から解答を判断します。

問7の内容説明の another button は、対話文を読んで進めていけば、「空中に上がるボタンとは別の、地上[下]に降りるボタン」であることは明確にわかると思います。

2 長文読解問題(物語文)

中学校のバスケットボール部の主将になったベンが、自分のチームにとって最も大事なものは、チームの勝利なのかチームの和なのか思い悩む文です。中学校の部活動を話題にしているので、中学生の受験者にとっては身近なテーマかと思います。問3の動詞の語形変化は、空所①以外は不規則動詞の過去形が入ります。不規則動詞の語形変化をしっかり勉強した受験者は、ここは得点源になったかと思います。問6の内容把握、問7の心情把握は、本文の流れを的確につかんでいけば、迷いなく解答を選べると思います。

3 書き換え問題

1は主語が三人称単数で、形が put なので、過去形の一般動詞の疑問文と判断します。some を any に変えることも忘れないようにしましょう。4は助動詞 must を含む文の未来形なので、will have to になります。will can や will must といった助動詞が2つ重なる形は誤りであることを覚えておきましょう。

4 適語補充問題

1は主語が三人称単数なので、動詞の形は visits になります。2は「何曜日か」と尋ねる疑問文は、「週の中の何日か」と日本語に言い換えて考えます。5は「～してはいけない」と禁止を表す助動詞は must not で、短縮形の mustn't が答えになります。

5 連立完成問題

2は guitarist 「ギターを弾く人、ギタリスト」が思いつくかどうかポイントになります。3は2つの文が過去形の文であることに気をつけましょう。5は難問です。上下の英文から、「6時45分」＝「7時の15分前」を読み取ります。なお、forty-five のようにハイフンでつながれた語は1語とみなします。

6 語い問題

1は同形の不規則動詞の問題で、4は同音異義語の問題になります。road[roud]の同音異義語は動詞 ride の過去形 rode です。

7 整序英作文問題

4問中易しい問題は1つありません。不要な語が1語ずつあることも、問題を解く上で少し厄介な要素です。ここの出来不出来が全体の得点に大きく影響すると思います。

中2駿台学力テスト 出題のねらい【数学】

今回の学力テストは、これまでの中学1年生までに学んだ算数・数学に「連立方程式の解法」を加えた単元で構成されています。連立方程式の文章題は第2回テスト以降の出題範囲であることから、今回は連立方程式の計算に限定して出題しています。

また、他の単元についても可能な限り1次方程式の解法（文字を設定し、式を立て、解く）を取り入れることに留意しました。問題の中には、式の立て方自体が難しいところもありますが、間違えた問題や解法を発想できなかった問題については十分に復習してもらいたいと思います。

1 計算問題

中1範囲と連立方程式からの出題。(4)のような $A=B=C$ の連立方程式の解法を押さえておく必要があります。……=9のような単純な部分に注目して式を作ると計算量が抑えられます。

2 小問集合

(1)(4)は中1で学習する単純な問題。(2)(3)は、やや算数的な面があり、正答に達することは困難ではありませんが、根拠を正しくとらえて数学的に解けるようになってほしいところです。

3 1次方程式の文章題

(1)(2)は基礎レベルの文章題。「7分多くかかる」ことを式で表すときに、+7なのか-7なのかを正確に判断できることが1つの到達点です。また、(3)は特殊な設定がある場合に、それが式を立てる際にどのように影響するかを把握して解けるかを試すことが狙いです。

4 比例と図形

(1)から(3)まではどれも関数単元の典型的な問題です。同時に、ある文字を定めたときに、他の座標や直線の式も同じ文字でおくことで方程式をつくる解法に習熟してもらうことを目標に作成しました。

5 円と正三角形

(1)では、直感的に $\triangle OBP$ が正三角形であることに気づくと思いますが、単なるまぐれ当たりとしないように、その根拠を正しく指摘できているか必ず確認する必要があります。(2)は、「求める部分の面積はおうぎ形の面積から面積を一部取り除く以外に求めることができない」と気づくことができれば、その先が見えてきます。

6 立体図形

(1)(2)は標準的な問題です。与えられた図を正しく把握できれば、正答に達することは困難ではありません。これに対し、立体の切断問題の演習が十分でない場合には(3)(i)(ii)ともに苦戦するかもしれません。(ii)は、正四面体を立方体に埋め込む有名な解法です。通常、体積を求めるには、第一に公式を利用できるかを考えるべきですが、実際には他の求め方も成り立つことが多くあります。(ii)のように考えることもできることを十分に理解しておいてもらいたいと思います。

中2 駿台学力テスト 出題のねらい【国語】

2年生になり最初の学力テストであるので、漢字やことばの基本的な知識問題、随筆文と論説文のオーソドックスな読解問題を出題しています。また、設問の難易度も幅広くしているので、現在の総合的な国語力を判断するには適切なテストになっています。

㊦ 漢字の読み書き

漢字自体が複雑で紛らわしいものは少ないですが、書き取りでは同音異義語や同訓異字のあるものを意識して出題しました。(1)・(2)・(3)がそれに当たるので、間違えた人はこれを機にしっかりと区別できるようにしてください。

㊦ ことばの知識・用法

様々な意味を持つことば、慣用表現、四字熟語を出題しました。特に慣用表現と四字熟語は、知識として知っているか否かがポイントになります。今回出題されたものに限らず、普段の生活の中で意味のわからない表現に出合ったときは辞書を引くことを心がけてください。2年生のうちから国語的知識を増やしておく、3年生になって具体的な受験勉強を始めたときに有利になります。

㊦ 随筆文の読解 橋本佳明「アリを食らうアリ」。

筆者は昆虫学者。不思議な自然の営みについて専門家がとっておきの話を披露した科学エッセイ集の中から、アリを食べるアリという興味深い生物を素材にした文章を採用しました。この文章を読むことで、生物の多様性を知り、自然に対する関心を抱いてもらいたいと思います。また、問五と問六の記述問題が正解であれば、しっかりした読解力と記述力が身についているといえるでしょう。

四 論説文の読解 野上裕生『国際協力ってなんだろう』より「ジェンダー — 貧困の女性化」。

国際協力に関わる様々なテーマについて現場の研究者が課題や意見を述べた本の中から、今話題のジェンダーに関する文章を採用しました。テストの中の設問文ではありますが、この文章を読むことで、開発途上国における女性の現状を知り、さらに世界全体の女性問題に対する関心を抱いてもらいたいと思います。また、問二と問七の記述問題を通して、設問に対する的確な記述の仕方を学んでほしいと思います。

以上